

Jean Sibelius

生誕150年

日本シベリウス協会主催  
シベリウス生誕150年シリーズ

# KULLERVO

フィンランド叙事詩「カレヴァラ」による音楽絵巻 哀しき勇者Kullervo ～管弦楽・男声合唱・独唱～

2015年3月3日(火)19:10 開演

<18:40よりマッティ・ヒョッキ氏と松原千振氏によるプレトークあり>

すみだトリフォニーホール大ホール

## Program *Composed by Jean Sibelius*

Kullervo クッレルヴォ

Finlandia フィンランディア (合唱付き)

指揮 新田 ユリ Yuri Nitta

独唱 駒ヶ嶺 ゆかり (メゾ・ソプラノ) Yukari Komagamine

末吉利行 (バリトン) Toshiyuki Sueyoshi

男声合唱 Finlandia 男声合唱団 Laulu Miehet (フィンランド)

合唱団お江戸コラリアーズ (日本)

合唱指揮 Matti Hyökki マッティ・ヒョッキ

合唱指導 松原 千振 Chifuru Matsubara

山脇 卓也 Takuya Yamawaki

管弦楽 アイノラ交響楽団 Sinfonia Ainola



新田 ユリ




駒ヶ嶺 ゆかり



末吉利行

【場所】 すみだトリフォニーホール ◆JR総武線「錦糸町駅」北口より徒歩5分 ◆東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」3番出口より徒歩5分

【チケット】 全自由席 <前売> (一般)3000円 (協会会員・学生)2000円 / <一般・当日> 4000円

【チケット取扱】  イープラス eplus.jp/ / トリフォニーホールチケットセンター TEL 03-5608-1212

【お問い合わせ】 日本シベリウス協会 <http://www.sib-jp.org> Eメール [info@sib-jp.org](mailto:info@sib-jp.org) TEL 042-482-9596(留守電対応)

【後援】 フィンランド大使館 フィンランドセンター 社団法人日本フィンランド協会 日本フィンランド文化友好協会 北欧文化協会

【協賛】 株式会社音楽之友社 株式会社明治 グランドハイアット東京 フィンツアー





## 新田 ユリ

’90年ブザンソン国際青年指揮者コンクールファイナリスト、’91年東京国際音楽コンクール指揮部門第2位。

東京交響楽団を指揮してデビュー後国内主要オーケストラに客演。’00年より1年、文化庁芸術家在外研修員としてフィンランド・ラハティ交響楽団にて研修。’05年フィンランド・ラムステッド奨学金授与。オウルンサロ、リエクサプラスウィークの音楽祭に招聘客演ほかフィンランド、ノルウェーの楽団に客演。’15年1月より愛知室内オーケストラ常任指揮者就任。’14年10月に日本シベリウス協会会長に就任。’04年よりアイノラ交響楽団正指揮者。



## 駒ヶ嶺 ゆかり

札幌出身。札幌大谷短期大学卒業後、専攻科・研究科終了。98年~01年フィンランドに留学。館野泉氏、マリア・ホロパイネン氏の許で研鑽を積む。「オウルンサロ音楽祭」「日フィン修好80周年記念演奏会」に出演。帰国後、「シベリウスフェスティバルinJAPAN」、「北欧音楽祭すわ」等に出演。東京新聞「シベリウス没後50周年」にて『クッレルヴォ』のソリストを務める。03年以来「シベリウス歌曲全曲演奏会」をはじめシベリウス作品を核とした企画演奏会を開催。09年道銀芸術文化奨励賞を受け札幌交響楽団とシベリウスの管弦楽歌曲を演奏。札幌文化奨励賞受賞。日本シベリウス協会理事。北海道二期会員。



## 末吉 利行

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院オペラ科を修了。声楽を畑中良輔、平野忠彦、田中万美子、河合武彰の諸氏に師事。第25回ジローオペラ賞、新人賞を受賞。パッハの受難曲、ハイドン「天地創造」「四季」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「荘厳ミサ曲」、メンデルスゾーン「エアリア」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、モーツァルト、フォーレ、デュルフレ、ヴェルディ、ドヴォルザークの「レクイエム」など数多くの宗教曲および「第九」の演奏で高い評価を得ている。オペラでは「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロール、「フィガロの結婚」のフィガロと伯爵、「魔笛」のパパゲーノ、「コジ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ、「カルメン」のエスカミーリョ、「椿姫」のジェルモンをはじめ、多くのレパートリーを持つ。名古屋NHK文愛知県立芸術大学教授、洗足学園音楽大学非常勤講師。二期会会員、青の会会員。



## Matti Hyökki マッティ・ヒョッキ

1998年よりLaulu Miehetの指揮をつとめるMatti Hyökkiは現在シベリウスアカデミー合唱指揮者クラスの教授の任にある。9歳よりピアノを学び、後に教会音楽、教育音楽の分野も修め合唱音楽のスペシャリストとして道を進む。1980年~2010年ヘルシンキ大学合唱団(現在のYL男声合唱団)を率いてきたことで知られる。フィンランド国立歌劇場、サヴォンリンナ音楽祭の合唱指揮者も務めてきた。



## Finlandia 男声合唱団 Laulu Miehet

1914年に創立されたLaulu Miehetはヘルシンキ大学合唱団の卒業生を母体とし、シベリウスの「狙撃兵行進曲」「フィンランディア賛歌」の初演を行うなど、100年の歴史をシベリウスをはじめとしたフィンランドの作曲家とともに歩んできた。多くの作曲家から作品の献呈を受けている。現在は他の大学の卒業生も含めヘルシンキでの定期演奏会の他、年2度の国内ツアー、また海外公演を行っている。今回初来日公演となる。合唱指揮はMatti Hyökki。



## 合唱団お江戸コラリアーズ

1998年4月に設立したアマチュアの男声合唱団。音楽監督である伊東恵司氏(なにわコラリアーズ等指揮者)の「関西がナニワやから、東京はお江戸でしょ」という一言から「お江戸コラリアーズ」と名乗る。

全日本合唱コンクールにて金賞および文部科学大臣賞などを受賞。男声合唱の新たな響きとスタイルの獲得を目指し、「全員が主役」をモットーに活動している



## アイノラ交響楽団

新田ユリを正指揮者とするシベリウス愛好家によるアマチュア・オーケストラ。2000年12月設立。シベリウスの交響曲・交響詩・音詩を含む管弦楽作品全ての演奏を目標とし、これまでに「序曲ホ長調(1891)」「劇音楽<クリスティアン2世>全曲版作品27(1898)」「管弦楽のためのバラード<森の精>作品15(1894)」「序曲イ短調(1902)」の日本初演を行っている。「交響詩<クッレルヴォ>作品7(1892)」は2007年に続く再演となる。